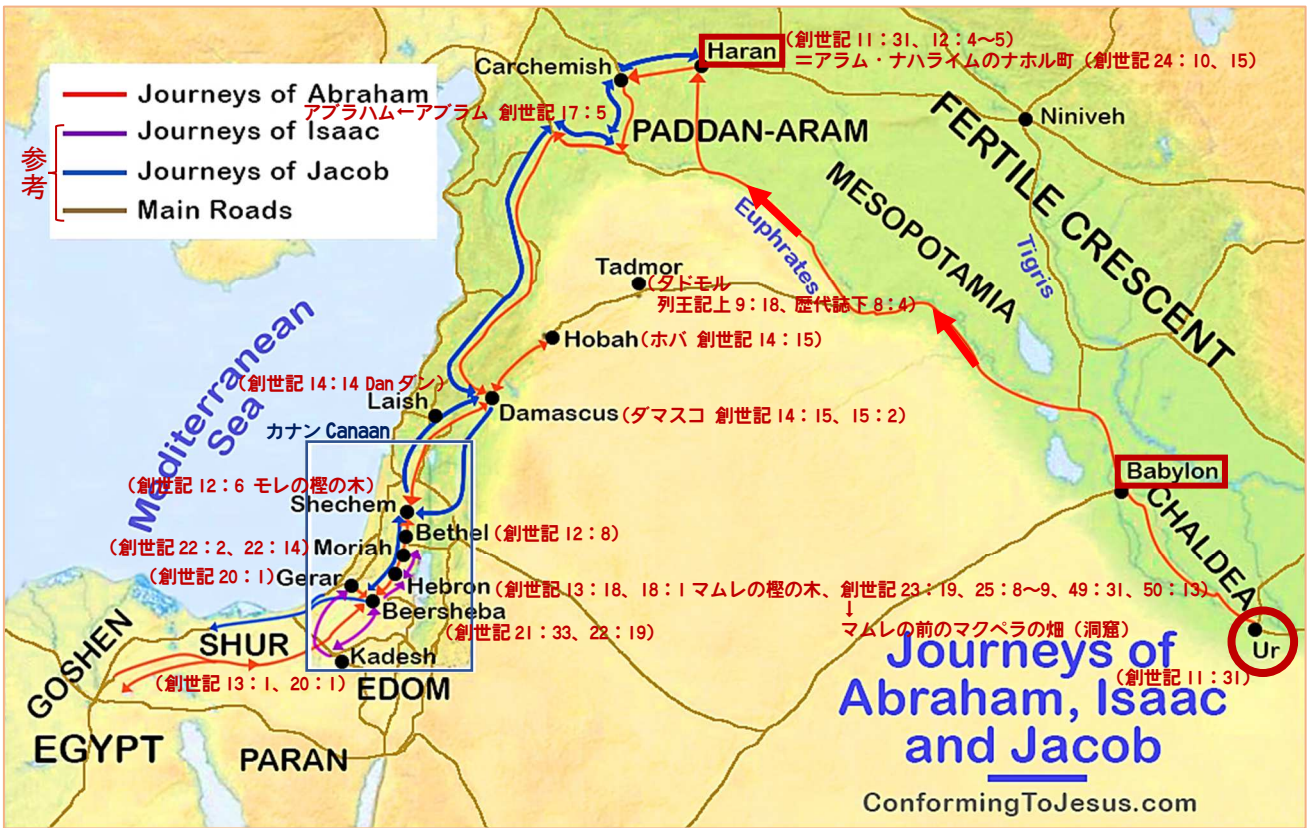


神の召命によるアブラハム(アブラム)信仰の旅(創世記 11:26~25:19)



出典(上図:一部加筆): ConformingToJesus Ministry - Copyright © 2014-2019. All Rights Reserved

出典(右図:一部加筆): <https://www.lets-bible.com/>

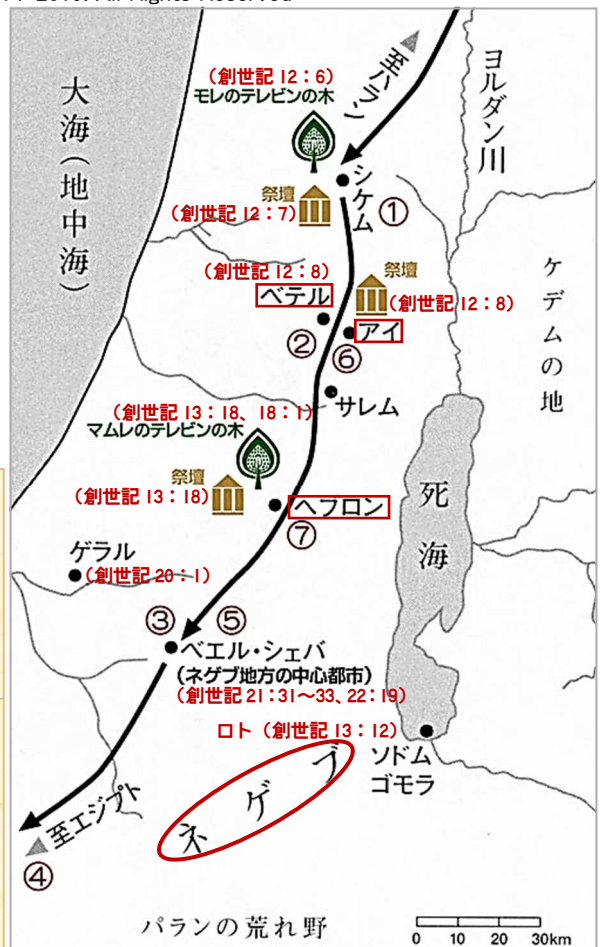
▶ 創世記 12:6 モレの榿の木

(N J V) the great tree of Moreh  
 (NKJV) the terebinth tree of Moreh

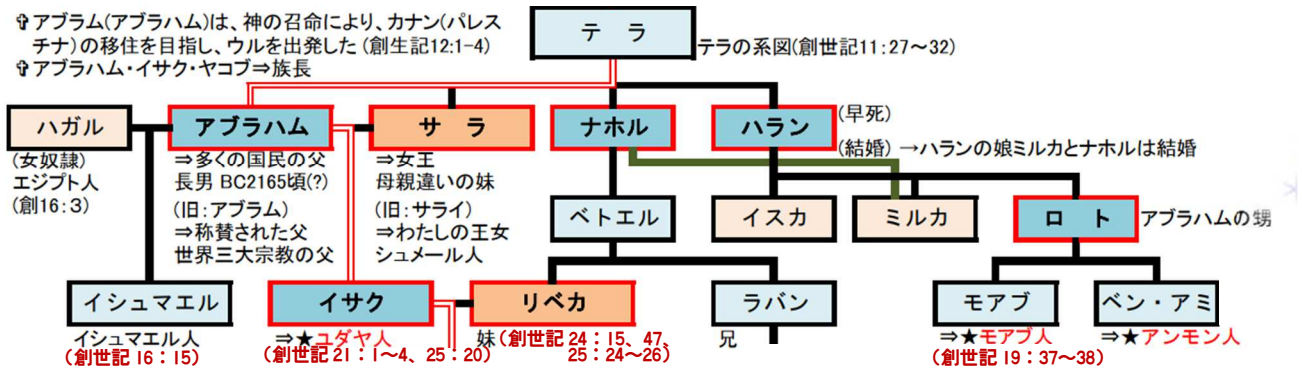
▶ 創世記 13:18 マムレの榿の木

(N J V) the great trees of Mamre  
 (NKJV) the terebinth trees of Mamre } 複数形

出典(下図:一部加筆): ©2000, American Bible Society



【参考】 アブラハム相関図



出典(上図): 聖書 Navi 聖書人物略図(一部) ©H.Taniguchi

※アブラハムは、ノアの洪水後、神による人類救済のため召命され、祝福された最初の預言者で、「信仰の父」とも呼ばれる。

※アブラハムのサラの後妻：ケトラ（創世記 25：1）→側女ケトラ（歴代誌上 1：32）

【参考】 聖書にある「モレの榿の木」「マムレの榿の木」 (英語表記：左：NJV、右 NKJV)

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数：5 / 聖句等の総数 33250 <モレの榿の木>2個<マムレの榿の木>3個(新共同訳) [検索語彙：モレの榿の木・マムレの榿の木]
K 創世記	12:6 アブラムはその地を通り、シケムの聖所、モレの榿の木まで来た。当時、その地方にはカナン人が住んでいた。 →the great tree of Moreh/the terebinth tree of Moreh
K 創世記	13:18 アブラムは天幕を移し、ヘbronにあるマムレの榿の木のところに来て住み、そこに主のために祭壇を築いた。 →the great trees of Mamre/the terebinth trees of Mamre
K 創世記	14:13 逃げ延びた一人の男がヘブライ人アブラムのもとに来て、そのことを知らせた。アブラムは当時、アモリ人マムレの榿の木の傍らに住んでいた。マムレはエシュコルとアネルの兄弟で、彼らはアブラムと同盟を結んでいた。 →the great trees of Mamre/the terebinth trees of Mamre
K 創世記	18:1 主はマムレの榿の木の所でアブラハムに現れた。暑い真昼に、アブラハムは天幕の入り口に座っていた。 →the great trees of Mamre/the terebinth trees of Mamre
K 申命記	11:30 この二つの山は、ヨルダン川の西のアラバに住むカナン人の領内を貫く街道の、更に西方にあって、ギルガルの前方、モレの榿の木の近くにある。 →the great trees of Moreh/the terebinth trees of Moreh

偉大な神の人、信仰の父と呼ばれたアブラハムでも、困難な状況に直面すると、動揺し信仰を失う場合がある。信仰の成熟は決して平坦なものではなく、むしろ数多くの失敗や敗北、試練を通して、学び育成されていくものである。

キリシタン大名と言われた戦国時代の武将、大友宗麟は次のように記している。

「人生における敗北、苦しみは試練であり、不幸ではない。灼熱の炎に磨かれる黄金のように、試練によってこそ、人は高められる。」